

2024年度第2回日本臨床検査医学会 臨床検査専門医・管理医審議会 議事録

日時：2024年8月28日（水）19：00～20：00

開催方法：Zoom ミーティング

出席（7名）：

大西宏明（委員長）

蔵野 信（2024・2025年度臨床検査管理医試験実行委員会委員長）

古川泰司（試験委員会委員長）

吉田 博（Subspecialty 検討委員会委員長）

松下弘道（日本専門医機構認定臨床検査専門医研修プログラム認定委員会委員長）

金子 誠（受験・更新資格審査委員会委員長/日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会委員長）

山田俊幸（日本臨床検査専門医会代表）

欠席（0名）

大西宏明委員長より、2024年度第2回日本臨床検査医学会 臨床検査専門医・管理医審議会開会宣言の後、議事を進行した。

1. 第4回機構専門医・第41回学会専門医 認定試験 結果について

（大西宏明 委員長、蔵野信 試験実行委員会 委員長、古川泰司 試験委員会 委員長）

2024年8月4日（日）、東京大学医学部で実施した。8月21日（水）に第4回日本専門医機構認定臨床検査専門医および第41回日本臨床検査医学会臨床検査専門医認定試験の判定会議を東京大学医学部附属病院検査部医局（各委員長と領域代表は現地参加）とWebのハイブリッドで開催した。

8月4日（日）当日は、会場でのトラブルはなく、試験自体も問題なく実施された。

機構専門医受験希望者13名、学会専門医受験希望者、初回受験1名、再試験受験1名（別途1名は欠席）、学会専門医更新復活のための遺伝子関連検査学、臨床検査総論の受験者1名が受験した。

8月21日（水）、試験委員会・試験実行委員会合同判定会議（ハイブリッド開催）を行った。試験の合格基準については、先の試験委員会・試験実行委員会合同会議で、機構専門医試験は研修カリキュラムに沿って6科目につき筆記試験、実技試験を行い、1：1で採点評価する。筆記試験はMCQとし総計で100点、実技試験100点、合計200点とする。全体の得点率60%以上を合格とし、科目再受験は設けない。面接は臨床検査医学総論で行い人間性の評価を加える。学会専門医試験は機構専門医試験を適用する。ただし、遺伝子関連検査が臨床検査総論から独立したため、両者を併せて臨床検査医学総論として評価する。合否判定、科目受験の設定は昨年と同様に行うことを確認した。

採点は、領域により、当日、あるいは、後日採点し、実行委員長が集計した。

全教科受験者のMCQの平均点は66.2点、正答率20%未満の問題は8問、識別指数0.15以下の問題は43問認められ、次年度以降の参考とする。

各採点結果を確認、議論のうえ、機構専門医13名合格、学会専門医の初回受験1名合格、科目受験の1名が不合格、専門医更新のための1名が合格と判定された。

以上の経緯が、本審議会に報告され確認のうえ判定結果通り承認された。

2. 試験委員会報告（古川泰司 試験委員会 委員長）

2024年8月4日（日）、東京大学・南研究棟3階にて臨床検査専門医認定試験当日、出席可能な試験委員会委員3名が現地運用状況の視察を行った。当日の筆記試験、実技試験の運用状況について、特に問題となる点は認められなかった。ただ、試験実行委員、試験委員の名札があると良いとの意見があった。

2024年8月21日(水)2024年度臨床検査専門医試験合否判定合同会議を東京大学医学部附属病院検査部医局、WEB・ハイブリッドで開催され試験委員会からは4名(1名はWeb)が出席した。

試験実行委員会で作成した合否判定結果について特段の意見は必要ないと判断したこと、試験問題難易度、正答率、識別指数など試験結果に関わる報告について妥当な範囲内と考えられたこと、一部正答率が低い(2割未満)問題については、翌年度以後の参考とするため各領域にフィードバックすることを提案したこと、当日欠席の再受験者1名への対応として特段の意見はないこと等が報告された。

3. 専門医試験辞退者の受験料について(大西宏明 委員長)

科目受験者1名より家庭の事情により受験辞退があり、再受験料の次年度への持ち越しの確認依頼があったことについて検討され、社会的に行動制限はなく自己都合による理由であること、また、すでに試験の準備が完了している状態であること、そして、認定試験実施要領で「注：一度納入された受験料は返金いたしません」と明記していることにより、返金や持ち越しは不可であることが確認された。

4. 次年度、専門医認定試験について(大西宏明 委員長)

蔵野信委員長より次年度の専門医認定試験実行委員長辞退の希望、東京大学の施設使用は可能との提案があったことについて検討され、次年度の専門医認定試験は、会場は今年と同じ東京大学医学部とするが、実行委員長については、継続審議することとなった。

5. 第16回臨床検査管理医講習・認定試験 試験実行委員会報告(2024/9/15(日), 三井記念病院)(金子誠 管理医試験実行委員長)

第16回臨床検査管理医講習・認定試験は、2024年9月15日(日)に三井記念病院において40名の受験者で実施予定であり、準備も順調に進んでいることが報告された。

6. その他

・Subspecialty 検討委員会について(大西宏明 委員長、吉田 博 Subspecialty 検討委員会委員長)

Subspecialty 検討委員会について、サブスペシヤルティ専門医に関するもののほか、専門医制度、管理医制度等の認定制度全般に関しての在り方を検討する委員会として、臨床検査専門医・管理医審議会内ではなく、学会の1委員会として独立する提案があり、その方向性が承認された。なお、委員会名、委員構成については、今後、吉田委員長が検討する。

大西宏明委員長より、次回以降の2024年度臨床検査専門医・管理医審議会開催日程が報告され、本会議は閉会された。

・第3回：9月25日(水)18:30~19:30 (Zoom ミーティング)

・第4回：12月27日(金)17:00~19:00 (現地)

2024年度 第1回 日本臨床検査医学会 評議員審査委員会

2024年度 第1回 日本臨床検査医学会 評議員審査委員会の開催が宣言され、議事を進行した。

1. 評議員(社員)再任予定者(2024/01/01付)について(大西宏明 委員長)

評議員再任は社員総会の承認が必要であり、1月1日より任期開始となるため、2024年11月28日(木)の臨時社員総会で2025年1月1日付評議員再認定予定者27名の承認を得る必要がある。審議され、予定者27名について承認された。ただし、今後、評議員は再認申請し、その申請結果を2024年12月27日の評議員審査委員会で審査したうえで最終的に再任が承認される予定であり、臨時社員総会で承認されたとしても、再認定の単位を満たさない場合は退任となる。